

3月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
T e l 0 5 2 (6 7 1) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 (6 8 1) 0 5 3 8

公式HP



今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

3月17日(月)

午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事

祈年祭は五穀豊穡と産業の繁栄を祈る祭典です。この祭典は「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲のことで、その実りが豊かであることをお祈りします。当神宮では、本宮はもとより五穀豊穡の神様をお祀りする御田神社をはじめ全ての摂社末社で祈年祭が執り行われます。春の祈年祭と秋の新嘗祭は日本古来の農業神事で全国で執り行われています。



鳥喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

3月17日(月)

午後2:00

御田神社

祭典・神事

五穀豊穡の神様である大年神(おおとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べて頂く「鳥喰(おとぐい)の儀」が行われます。祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞も執り行われ、非常にめずらしい祭典です。



○古くは、鳥喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べられなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。

お氷上さんの愉快な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

3月30日(日)

午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する当神宮摂社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。

当日は追儺・招福などを祈る、ここでしか拝観できない神楽を神前で奉奏します。



○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社で行われるようになりました。



熱田神宮宝物展

コーナー展示「熱田の祭典神事」

3月15日(土)～4月22日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

当神宮では年間およそ70の祭典神事が執り行われてい
ます。コーナー展では祭典神事に関連のある所蔵品約70点を
展示致します。

主な展示品

【重文】日本書紀、【重文】古神宝類 黒漆根古志形鏡
台、【重文】木造舞楽面 納曾利 他

※宝物館は会期が異なる場合があります。詳細は宝物館
(TEL:052-671-0852)までお問い合わせください。

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで。



剣の宝庫 草薙館 刀剣展

「美濃伝」

2月26日(水)～3月24日(月)

午前9:00～午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展
示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのでき
る体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

今月の主な展示品

【県文】太刀 銘 濃州関住兼房作／河村京三郎

【県文】剣 無銘 (俱利伽羅剣)

刀 銘 兼先 他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで。



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月8日(土)

午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

[演題]

戦国時代の貨幣流通

[講師]

名古屋市立大学 教授 川戸 貴史 氏

- [聴講料] 無料
[お問合せ] 052-671-0852 (熱田神宮文化殿)

